

東山・山科租推協だより

【発行】京都市東山区・山科区租税教育推進協議会
(事務局：東山税務署 総務課内 TEL 075 - 561-1131)

～ はじめに ～

皆様方には、平素から当協議会の運営及び租税教育の推進につきまして、深い御理解と格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当協議会は、平成 7 年 12 月に設立以来、次代を担う児童・生徒の皆さんや地域の皆さんに税の役割や申告納税制度の意義、納税者の権利義務を正しく理解していただくため租税教室の開催、職場体験学習、税に関する作文の募集など様々な活動に取り組んでおります。

この「東山・山科租推協だより」は、平成 29 年度において実施した主な活動内容を御紹介しております。

今後とも健全な納税意識をより一層高めるとともに、租税教育の更なる充実を図るため、皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

京都市東山区・山科区租税教育推進協議会
会長（東山税務署長） 岡田 真理子



チャレンジ体験学習の実施

東山泉小中学校 8 年生の生徒 2 名がチャレンジ体験学習に来られ、税のしくみや税額の計算方法について学習するとともに、案内表示等の作成や説明会の準備などの実務も体験していただき、最後に修了証書をお渡ししました。

なお、作成していただいた案内表示等は税務署の敷地内に設置するなどして活用させていただきました。



平成 29 年度 税に関する作文の入選者紹介

当協議会は、次代を担う中学生・高校生の皆さんに税の役割や使い道について考えていただくために、国税庁や全国納税貯蓄組合連合会が毎年実施している「税に関する作文」の募集活動の後援を行っています。

今年度は、中学生 10 校 1031 編、高校生 2 校 246 編の応募をいただきました。

入選された皆さんは、次のとおりです。(敬称略)

中学生の「税についての作文」

○ 全国納税貯蓄組合連合会優秀賞					
山科	中学校	3年	伴	みのほ	「私たちの生活を支えている税金」
○ 近畿納税貯蓄組合総連合会長賞					
音羽	中学校	3年	向	すず	「税金が担う教育リレー」
○ 京都府納税貯蓄組合総連合会長賞					
安祥寺	中学校	3年	内貴	萌絵	「納税がつなぐ人と社会」
○ 東山税務署長賞					
東山泉小	中学校	9年	秋山	祐衣	「ふるさと納税の在り方」
音羽	中学校	3年	辻	佳那子	「税に願いを込めて」
○ 公益社団法人東山納税協会長賞					
華頂女子	中学校	3年	林	綾花	「次の世代のための納税」
安祥寺	中学校	3年	水野	由珠	「税は縁の下の力持ち」
○ 京都市東山区・山科区租税教育推進協議会長賞					
開晴	小中学校	9年	島迫	温子	「これからの社会と税について」
勸修	中学校	3年	長谷川	このみ	「税金からなる私たちの暮らし」
勸修	中学校	3年	石本	鈴蘭	「税の使い道とこれからの日本」
○ 東山納税貯蓄組合連合会長賞					
山科	中学校	3年	道端	真斗	「私たちの生活に影響する税金」
音羽	中学校	3年	木下	莉子	「新しい日本を」 <small>～日本国憲法第三十条による、 国民のための納税義務～</small>
東山泉小	中学校	9年	成田	真飛	「税と日本の未来」
一燈園	中学校	3年	鴛田	陽花	「税の重要性」
安祥寺	中学校	3年	梅田	夏鈴	「税金のありがたさ」
勸修	中学校	3年	廣瀬	千尋	「私たちの生活と税金」
勸修	中学校	3年	西村	幸来	「未来の子孫のために」
大宅	中学校	2年	小島	彩衣	「身近にある税と私たちの生活」
花山	中学校	3年	野口	歩美	「若者のための税」

税に関する高校生の作文

○ 京都府租税教育推進連絡協議会賞					
一燈園	高等学校	1年	生田	光	「利に縛られないお金」
○ 東山税務署長賞					
一燈園	高等学校	1年	山田	太一	「日本の税の問題点」
○ 公益社団法人東山納税協会長賞					
洛東	高等学校	1年	西田	南瑠美	「税金について私が思うこと」
○ 京都市東山区・山科区租税教育推進協議会長賞					
洛東	高等学校	1年	清水	梨有	「消費税のある理由と上がる理由」

全国納税貯蓄組合連合会優秀賞

「私たちの生活を支えている税金」 山科中学校 3年 伴 みのほ

国民の三大義務の一つが納税だ。消費税、所得税、固定資産税など様々な税金があるが、何のための税金なのか、今まで考えたこともなかった。「こんなに税金が引かれてる」「また消費税が上がる」などという声を聞き、私の税金に対する印象は、いいものではなかった。そんな私が、税金の印象を一変させる出来事があった。

私の祖父が病気になる手術をした。手術後、家の改造や定期的な受診、治療のための薬や器具、介護サービスにたくさんの費用が必要になったが、その全てに税が充てられ、負担額はとても少ないものであったのだ。

調べてみると、税金の多くは、医療費、年金、介護など私たちの生活を支える社会保障に使われていることが分かった。つまり、祖父の生活は税金に支えられているのである。

若く元気なときは税金を払わされているように感じてしまうが、年を取ったり、祖父のように病気で介護が必要になったりしたとき、初めて税金のありがたみが分かるのである。

私は毎日学校へ行き、無償の教科書を使って勉強をしている。怪我や病気の時には、病院で治療を受けることができる。火事の時には、すぐに消防車が来てくれる。毎週決まった曜日にゴミ収集

車がゴミを集めに来てくれる。それらは当たり前のごとすぎて、なぜだろうと考えたこともなかった。しかし、私たちが今、安全で快適に暮らしているのは、税金のおかげなのだ。税金は、私たちの生活と密接に関わっている。自分が受けている恩恵も知らずに悪い印象を持っていたことを恥ずかしく思った。

「税金逃れ」という言葉を何度か耳にしたことがある。払わなければならない税金を、偽りや不正によって不当に安くしたり、逃れたりすることである。もちろん犯罪である。国民のために有効に使われている税金を、払いたくないからといって、罪を犯してまで逃れようとする人間がいるのかと思うと、情けなくなった。どうして自分のことしか考えられないのだろうと悲しくなった。その人たちも、誰かが払った税金に支えられて生きているはずなのに。

一人でも多くの人が、税金を払いたいと思うような世の中になってほしい。払った税金は、自分のためになるのはもちろん、どこかで必ず誰かの役に立っている。納税は社会に貢献できる、とても素敵なことなのだ。私は将来、納税者としてしっかり税金を払いたい。次は私が恩返しをする番だと思うからだ。

京都府租税教育推進連絡協議会賞

「利に縛られないお金」 一燈園高等学校 1年 生田 光

「税とはなんだろうか」

この問いに対する答えは人によって違うだろう。「私たちの生活を陰から支えているもの」と答える人もいれば、「社会が成り立つのに必要なもの」などと、考えている人もいると思う。私の答えは、「利に縛られないお金」である。

日本は、資本主義国家なので、国民が自由に職に就き、自由に働いて、自由に物品を売買することによって社会が成り立っている。私は、これは合理的でよいシステムだと思っている。働いて、収入を得て、消費をする……このサイクルを国民が繰り返すことによって、経済が循環している。

しかし、言い方を変えれば、この経済システムは、「利に縛られている」と言えるのではないだろうか。お金を払って、他人に働いてもらったり、物品を受け取ったりする。つまり、利によって他人との関係を築いているのである。

普段、私たちは、このシステムについて不満を抱かないが、これには、ある決定的な致命傷がある。それは、「利にならないことは、誰もしたがる」ということである。当然といえば、当然のことだ。誰だって、自分や家族の幸福を求めて、日々働いている。世の為、人の為というものを最

重要視している人はほとんどいないであろう。

皆が利益ばかりを求めて、働いた結果、何が残るかという、「利益にならない仕事」というものが残る。道路工事や、役所、警察、学校などがこれに当てはまる。どれも、社会には欠かせない仕事だが、私たちは直接、報酬を支払わない。では、これらの仕事は誰がやるのか。また、それをした人に誰が賃金を払うのか。そう言った問題を解決するのが、税金である。国民から、少しずつ集めたお金を使い、普通なら利益にならない資本主義経済のサイクルから外れた仕事を行った人々に報酬を払うことによって、社会を支えているのである。

では、税というものがなかったら、どうなっているだろう。道路はすべて有料化、警察はいないので、各家庭が、それぞれ警備会社と契約して保護してもらい、学校は私学のみなので、国民の学力の格差が大きくなり、日本の発展は止まってしまうだろう。このように考えると、税がいかに大切なものであるかが、理解できると思う。

以上の観点から、私は、税とは、社会を裏から支えている。「利に縛られないお金」と認識している。

租 税 教 室 の 開 催

当協議会は、近畿税理士会所属の税理士や納税協会会員、京都市・税務署職員を講師として、税のしくみや役割などについて分かりやすく解説する「租税教室」を開催しています。

今年度は、社会人の方も含め1,600名以上の方に受講していただきました。

	開催日	学校(事業所)名	対象者	講師
保育園	29.10.30	永興保育園	園児 102名	税務署職員
小学校	29.5.24	安朱小学校	6年生 33名	納税協会会員
	29.11.7	勸修小学校	6年生 96名	京都市職員
	29.11.14	開晴小学校	6年生 80名	税務署職員
	29.12.1	一燈園小学校	6年生 7名	税務署職員
	29.12.6	山階南小学校	6年生 84名	税務署職員
	29.12.8	百々小学校	6年生 110名	納税協会会員
	30.1.17	大宅小学校	6年生 114名	税務署職員
	30.1.19	東山泉小中学校	6年生 76名	税務署職員
	30.2.6	小野小学校	6年生 79名	納税協会会員
	30.2.13	京都女子大附属小学校	6年生 78名	納税協会会員
	30.2.28	音羽小学校	6年生 46名	京都府職員
	29.3.7	音羽川小学校	6年生 72名	納税協会会員
	中学校	29.12.11	花山中学校	3年生 130名
29.12.11		勸修中学校	3年生 200名	税理士
29.12.18		一燈園中学校	3年生 12名	京都市職員
30.2.9		山科中学校	3年生 191名	税務署職員
高等学校	30.1.17	洛東高等学校	就職内定者 8名	税理士
大学	29.6.21	京都女子大学	1講座 71名	財務省職員
社会人	30.1.29	トクデン(株)	社員 20名	税務署職員

開 催 風 景

保
育
園



小学校



中学校



高等学校



「ゼキンペアのうた」のご紹介

当協議会の監修により昨年度に作成した広報ソング「ゼキンペアのうた」を活用し、保育園での租税教室や、区民まつりなどで税に関する広報活動を行いました。

作詞：髙橋雅浩&カル☆チン 作曲：カル☆チン 監修：京都市東山区・山科区租税教育推進協議会

- 1 ほくの名前はゼキンパー（パー！） みんな 知ってるかい僕のこと
みんなが納める税金で 僕の体はできている
- 2 私の名前はゼキンパート（パート！） みんな 知ってるかい私のこと
みんなが納める優しさで 私の心はできている
- 3 ほくと私はゼキンペア（ペア！） 力をあわせりゃ百人力だ
みんなが納める税金で みんなの暮らしをささえます

みんなが通う学校も
みんなが遊ぶ公園も
道路もトイレもゼキンパー
ゼキンパーでつくるんだ

「ぜい」は「ぜい」でもぜいたく
してないよ
締まった筋肉が自慢の僕なのさ
みんなの笑顔が見たいから
ゼキンパーは今日も行く

助けを求める人のため
パート 消防・救急車
介護施設も病院もゼキンパート
ゼキンパートでつくっちゃう

「ぜい」は「ぜい」でもぜいたく
してないよ
締まったボディが魅力の私なの
みんなの幸せ願っているわ
ゼキンパートでつつみます

安全な町も便利な町も
みんなが住みよい町も
未来の安心もゼキンペア
ゼキンペアでつくるんだ

「税」は「全員」で納めていき
ましょう
それが明るい日本をつくるのよ
みんなの笑顔が見たいから
ゼキンペアで守ります

事務局からのお知らせ

クリック

国税庁ホームページ 税の学習コーナーのご紹介

税の学習コーナー

検索

国税庁ホームページでは、税について次のようなコーナーを設けております。授業などで是非御活用ください。

(トップ画面 [イメージ])

「学習・入門編」等 コーナー
税の種類、税の意義や役割、身近な税の使いみちなどについて分かりやすく解説しています。

- ① 「租税教育用素材」コーナー
[「租税教育の事例集」](#)をはじめ、税の学習用パワーポイント教材などを掲載しています。
- ② 「税の作文」コーナー
 中学生、高校生の税に関する作文の入選作品を掲載しています。
- ③ 「ビデオライブラリー」コーナー
 税のしくみなどをアニメで分かりやすく解説したものや、Web-TAX-TV (税に関する番組) を掲載しています。
 なお、DVDの貸し出しも無料で行っていますので、御希望の方はお気軽に租税教育推進協議会事務局までお申し出ください。
- ④ 「ゲーム・クイズ」コーナー
 街づくりゲームや3択の税金クイズを通じて、税について楽しく学ぶことができます。
- ⑤ 「絵本・かみしばい」コーナー
 絵本やかみしばいを通じて、税金の使われ方などについて学ぶことができます。

租税教室を開催しませんか？

小・中・高校生はもちろん、企業・団体などの社会人の方も大歓迎です。
 日程、テーマ等については、できるだけご要望にお応えできるようになっていますので、お気軽に事務局までご相談ください。

京都市東山区・山科区租税教育推進協議会 事務局 (東山税務署 総務課内)
 〒605-0914 京都市東山区渋谷通大和大路東入下新シ町339-5
 TEL 075-561-1131